

令和5年度第2回名古屋大学医療安全管理業務監査委員会議事録

日時： 令和5年12月6日（水）10：00～11：00

場所： 医系研究棟1号館 地下1階会議室

出席者： 柵木委員長、三島、長谷川、松下、中東の各委員

欠席者：

本院側出席者：小寺病院長、長尾副病院長（医療安全管理責任者）、山田薬剤部長（医薬品安全管理責任者）、藤原医療機器総合管理部長（医療機器安全管理責任者）、患者安全推進部員、山本救急科長

議事に先立ち、委員長から交代委員（松下委員）の紹介があった。

議 題

1. 医療安全管理責任者の業務状況について

長尾副病院長から、資料に基づき、令和5年度4月～9月のインシデント報告件数、全死亡例報告件数及び医療過誤によって発生した医療費累計等について説明があり、各委員及び本院側出席者から次のとおり意見等があった。

（○監査委員 ●病院出席者）

○医療過誤によって発生した医療費累計について、今までの委員会資料にはなかった。これは、安全管理の取組について、医療費という観点からも改善が確認できるので、資料掲載したという認識でよいか。

●事例により発生する費用は様々であるが、原則的には、当医療費を0円にすることを目指すべきと考えている。また、掲載した金額は医療過誤により発生した医療費であり、訴訟費用等を含んでいない。

○この医療費はどのように算出するのか。

●医療過誤によって発生した医療費は全額病院負担となるので、その金額を合計したものである。

○医療費は保険点数に準じて病院が金額設定をしているのか。

●保険点数に準じて負担しており、その都度担当部署が調整した上で金額を設定している。

2. 医療機器安全管理責任者の業務状況について

藤原医療機器総合管理部長から、資料に基づき、医療機器安全管理責任者の業務状況について、説明があった。

3. 医薬品安全管理責任者の業務状況について

山田薬剤部長から、資料に基づき、医薬品安全管理責任者の業務状況について、説明があった。

4. 患者安全推進部の業務状況（トピックス）について

濱田副看護師長から、資料に基づき、「栄養管理部インシデント検討会について」について、山本救急科長及び栗原病院助教から「院内救命質向上WGについて」について、平松患者安全推進副部長から「CQSO、EQSO、AQSO プロジェクトについて」について、長尾副病院長から「2017年に発生した頸部術後急変による事故調査事例について」について、それぞれ資料に基づき説明があり、各委員及び本院側出席者から次のとおり意見等があった。

○院内救命質向上WGとは、各診療科を教育指導するためにできた組織という認識で問題ないか。

- ICUや救急科では、現状は全ての院内急変時の事象に対応ができるチーム体制は常設できていないため、主治医や主科の医師が不在だが対応が必要と考えられる場合に、連絡いただき、状況を伺い、適切な対応方法をアドバイスすることや主科との調整を行う等の業務を行っている。当WGはこの体制の整備をし、適切に運用されているかを確認し、改善を進めている。
- 院内急変時の対応を3段階に分けた。一つ目は院内で急変があった場合に緊急呼び出しができる体制であること。二つ目は急変の予兆がある場合に主治医以外からも専門チームに相談ができるようにしたこと。また、それよりもさらに前の段階で日常的に測定しているバイタル数値をスコア化し、その対象となった場合には、患者から異常の申し出がなかったとしても、専門チームに相談することを考慮することとした。

5. 患者安全推進委員会の業務状況について

委員長から、資料について確認の上、意見・質問等がある場合は、会議終了後事務局まで連絡いただきたい旨説明があった。

6. 講評

委員長から各委員に講評をいただきたい旨発言があり、各委員より次のとおりコメントがあった。

○医療安全管理業務が適切に行われていることが確認できたと思う。また、救急科は日常の対応のみでも大変であると考えてるが、院内急変時の体制整備などで他の病院では行えていないことにも取り組んでおり、大変素晴らしいと思う。

○名大病院が医療安全管理業務を高いレベルで実施していることがわかった。医療を受ける側としてはインシデント報告の累計数が多くあることを心配に思う気持ちもあったが、影響レベルが低いインシデントをきちんと報告し、分析・検討する体制ができていることがわかり、安心を覚えた。

○精緻な報告ができています。院内救命質向上WGに関心を持った。これは非常に重要なものであるため、今後は院内急変用のバッグを準備する等して、急変の連絡があった際に対応できるチームが作られることを期待している。

○医療安全管理業務が適切に行われていると判断する。栄養管理部インシデント検討会について、次のサイクルへの課題も明示されている等から真摯な取組をしていることがわかった。その一方で、基本的な事項でインシデント・アクシデントが発生していることについても考慮をする必要があると考える。

○医療安全管理業務が適切に行われていると考える。ただし、医療機器安全管理責任者及び医薬品安全管理責任者の業務状況について、医療機器・医薬品の適応外使用等の報告以外にも、インシデントやアクシデントが発生した際に、どのように対応したか等も報告いただくのがよろしいかと考える。

7. その他

委員長から次回開催は5～6月を予定しており、後日、事務局を通して日程調整させていただく旨、案内があった。

小寺病院長から、本日の監査委員会実施に係る謝辞の後、委員各位の任期が今年度末で満了することに伴い、後日事務局から来期の委嘱依頼を行いたい旨の案内があった。

以 上